

## 活用方針



### VLP取組概要



#### ■ VLP活用のねらい

- 適応支援グループ（適応指導教室）に参加している、あるいは教育相談室を利用している児童・生徒が、その時のコンディションや準備状態に応じて「足を運ぶことは難しいけれどオンラインであれば参加できる」という「バーチャル出席」を設けることで、相対的な適応支援グループ等の出席率を上げる。

#### ■ 対象生徒・児童

- 教育相談室や適応支援グループを利用している児童・生徒

#### ■ 運営時間

- 不定期

#### ■ 活用方法

- 夏休み中の適応支援グループ職員とのコミュニケーション

## 活動・取組み内容



### 活動・取り組み内容

#### 【前期】

適応支援グループの夏休み期間中に、自宅にいる児童・生徒と、教育センターにいる適応支援グループ職員が、VLP上で個別にコミュニケーションを図ることを計画していたが、生徒のコンディション等を鑑み、実施を見送り。

#### 【後期】

対象児童・生徒の適応支援グループ、教育相談室への来室が安定したため、オンラインによるバーチャル出席の必要性が減じたため、実施を見送った。

## 成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

### 成果/好影響

※R7年度は活用実績が無いため記載なし。

### 利用者の声

※R7年度は活用実績が無いため記載なし。



### 次年度以降の方針

- ✓ 適応支援グループの場に参加することは難しいが、教育相談室での個別の支援の場には足を運ぶことができる児童・生徒が、オンラインを通じて小集団を体験する設定を設けることができた。
- ✓ 人的配置はもちろんのこと、設定やプログラム考案、ネットワーク環境整備等への労力が少なくなく、Teams等オンラインのその他の繋がり方では不十分な際に利用を考える可能性がある。



※R7年度は活用実績が無いため記載なし。